

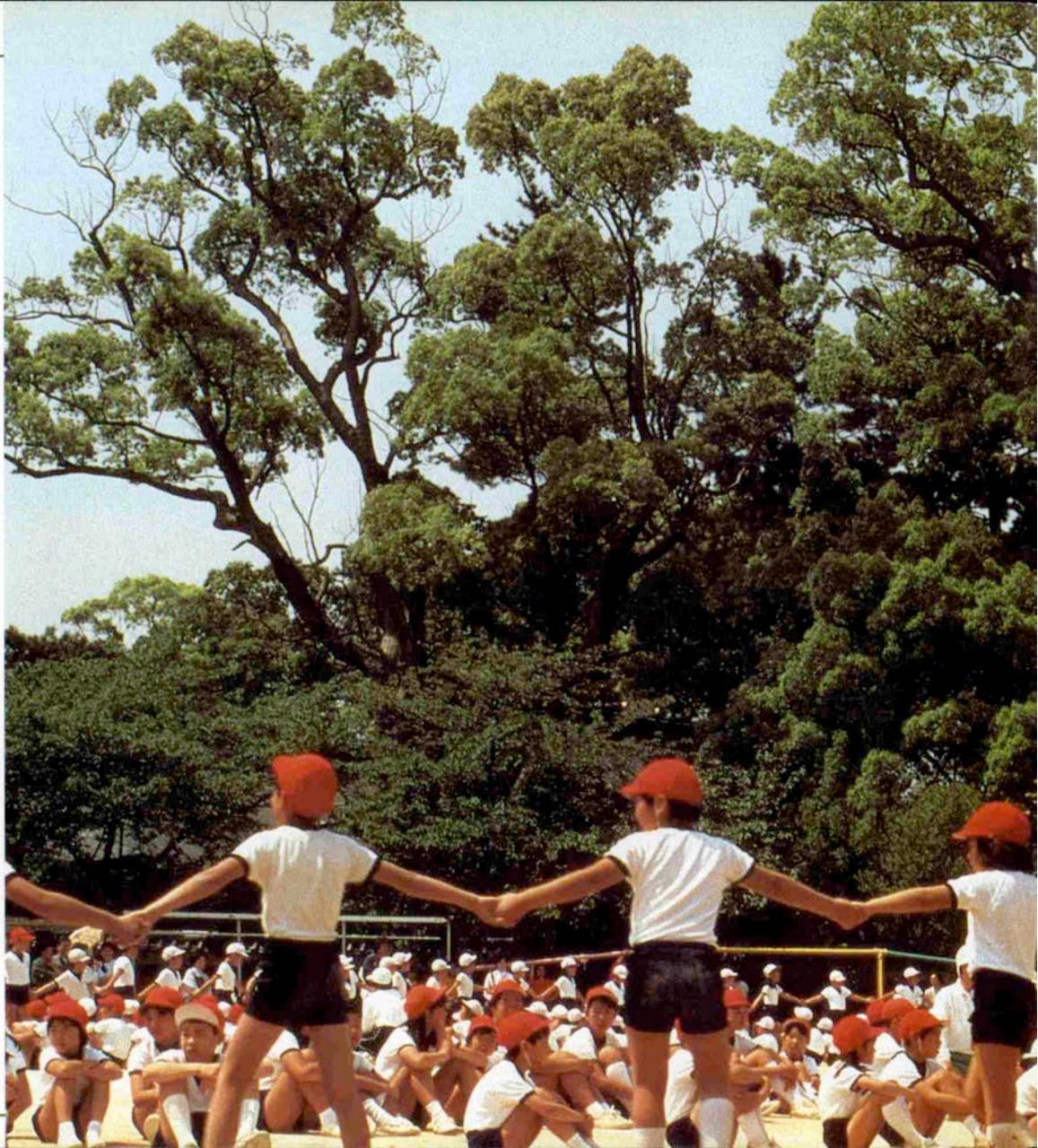
Photo Masaob Kobayashi

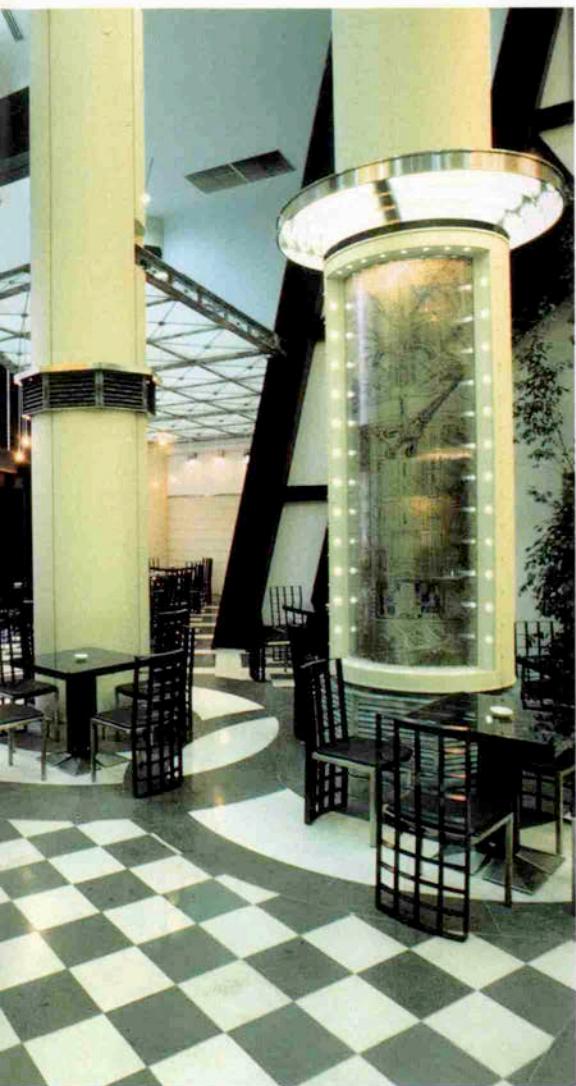
神戸の名木

長田神社のくすのき

所在地——長田区長田町三丁目
□市バス長田神社前

名木と言われるなかでも神木の本格派。
八〇〇年の昔から大衆と縁故の深いこの樟は、
今も移り行く世代をじつと見つめている。





旧居留地散歩①

PRODUCED BY KOBE DAIMARU



GENIUS GALLERY

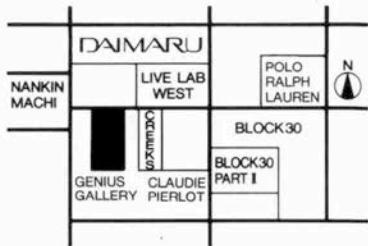
ジーニアス・ギャラリー

<水曜定休>

神戸市中央区西町33／11:00AM～8:00PM

<ジーニアス・カフェのみ 10:00AM～8:00PM>

- ジーニアス・ギャラリーへのお問い合わせは
大丸神戸店(078)331-8121まで



GENIUS CAFÉ

ジーニアス・カフェ

きらきら光る初夏の風に、神戸の街が一年じゅうでいちばん美しいといわれる5月。大丸浜側、ジーニアス・ギャラリー1階のジーニアス・カフェでの、ひとときはいかがですか。ジーニアス・ギャラリーのデザイナー、アラン・カレの「パリのスノップ」なカフェをそのまま神戸の皆さんに楽しんでもらいたい。」という熱望により誕生した、おしゃれなカフェ。ウインドウ越しのオープンな雰囲気と色調がきわめてパリ的で快適。バーカウンターで、軽くアルコールドリンクを気どってみるのも、さりげなくおしゃれです。

●表示価格の3%を消費税として別途頂だいたします。

●ランチタイム(日曜日を除く)

11:30AM~2:30PM

サンドwich・スープ・エスプレッソ…800円

マカロニグラタン・サラダ・パン・エスプレッソ…900円

スフレ風オムレツ・サラダ・パン・エスプレッソ 1,000円

●日替わりクレープセット(日曜日を除く)

3:00PM~7:00PM

クレープ・コーヒー又は紅茶 700円~900円



Kir キール…700円
カシスに白ワインを加えた
ポピュラーなカクテルです。



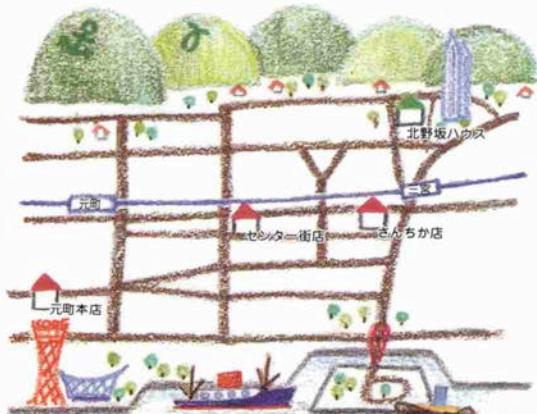
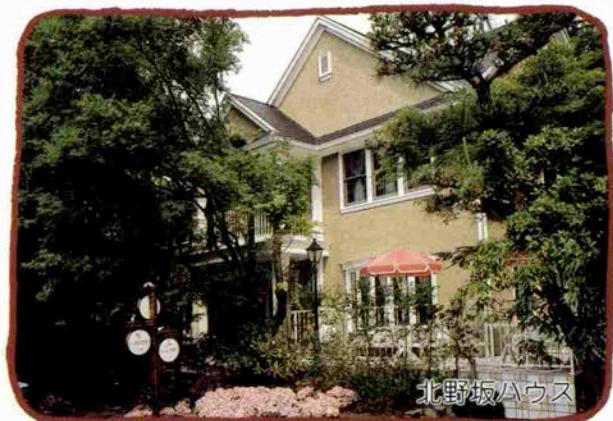
Fruits, Flruy…600円
カスタードクリームをクレープで包みこみました。
爽やかなフルーツと一緒に召しあがりください。
Café Cappuccino カフェ カブチーノ…500円
泡立てたミルクにエスプレッソコーヒーを加え
シナモンパウダーで風味を出したコーヒーです。





青く澄んだ海の色
白い雲と緑の山々

K O B E の色はファミリアの色



Fashions for Babies and Children

ファミリア

本社: 神戸市中央区西町36 ☎ 078(321)0345代
東京支社: 東京都新宿区新宿5-17-5 ☎ 03(3209)6677代

'91秋の御婚礼衣裳大展示会

- とき 7月28日(日)
AM10時～PM 5時
- ところ 神戸ポートピアホテル
(ポートライナー市民広場駅下車)
大輪田の間(南館1F)

花嫁は
ロールスロイスに
乗って



大丸前
つるや衣裳店

神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎ 078(321)0360代

神戸ポートピアホテル衣裳室	□ (078) 302-3378
ビアンカスピーザ	□ (078) 302-1051
シュバリエ	□ (078) 302-5555
神戸鳳凰堂'86衣裳部	□ (078) 303-5555
ホテルゴフルリップス衣裳部	□ (078) 262-2908
新神戸ヨリエントラルホテル衣裳室	□ (078) 382-0160
アーバルティ	□ (078) 221-4181
橋公会館衣裳室	
そごうブライダルサークル	

衣裳をご利用の方にクラシックカー(4台)での送迎サービス
を行っています。詳細はつるや衣裳店(本店)まで。

ハート・コレクション

3, rue Castiglione, 1^{er} PHONE 4
 9, place Madeleine, 8^{me} PHON
 30, av. Montaigne, 8^e
 68, av. des Champs-Elysées
 29, av. George V, 8^e
 42, av. Kleber, 16^e
 7, rue St. Florentin, 1^{er}
 26, place Vendôme, 1^{er}
 13, rue de la Paix 2^e

Inter-Continental
 Lucas-Carton
 * Céline
 Guerlain
 * Nina Ricci
 Liz
 Jean Patou
 Cartier Boucheron
 * Cartier

K MIKAMI



メインストリートに面したカフェのテラスで、
 遊行く人を眺めるのがヨーヒーを飲んでいい。
 この国を見て、今日が二日目。
 体が散るから優しく決めた旅だけれど、
 本当に良かつた。
 いま心が少しうきつい。
 旅の大変さ、魅力のどちらは、
 自分知らない世界に出合えること。
 目かくつっこが過ぎるという言葉があるけれど、
 いままことに、どこぞの街や風景、
 知らない人たちの知らない生活に触れることが、
 少しオバフの表現をねらって。
 人生の野が大きくなっちゃう気がする。
 これは、いくつも読みたり
 人に聞くてもわかる気がしない。
 自分も体験して初めて知ったことを想い。
 旅先が異国で、見聞が感動はひととき。
 日常が少し離れた感じ。
 そのふんだけ大き成長したモノの気がする。
 トランクに詰め込みが
 ひとつひとつ現実になつて、
 休暇はある四日。
 今日は四日、午前中の自由行動の後、
 道連れの友達など、このカツエ待合わせて
 海で泳ぐり我ほほんスをしたり、
 欲ばり旅だけれど、
 いちごの収穫は、
 心の充電。
 休暇の意義はそこにあるのだから。

メリヒル

ゲルラン

ポンフカヤ

シス

ルーブル・ラティララロン

ダイアナ

ミッセル・クラン

クロードレマ

タカノ

ココ山岡

三愛

キンディッド・マス	ミュー・エタム
メソングマー	アユージュ
フォーセット	クラブ・メッド
ペニトン	リーフィット
ラ・キーズ	アトモスフェール
ハニ・ハウス	ヴィッキー
イーストボイ	ラシム・マスキヤン
ペントン・グッズ	キャットセゼン
ファリー	ハウスクロービ
サンクス・クラブ	トリップ
ペイブスター	ラバブル
ペイントブレイス	ミセラン
ヴィン	シエル
ハチザン	ロスクレヨン
ロスクレヨン	ベネトンインナー
アラグレッセ	

FASHION PARK

神戸・三宮さんプラザ、センターブラザ3F

営業時間 am11:00~am8:00 PHONE 078-332-1698

第3月曜・定休日



これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です

5月号目次 ● 1991・361

- 表紙／(故) 小磯良平名作シリーズ／
セカンドカバー／西村功
11 神戸っ子91／西尾智香・西内脩
14 ある集い／ブラジル文化交流会・プリンセスサンバ
チーム・月刊神戸っ子サンバチーム
17 コウベスナップ／イギリス美術展・ルイス・ティファニー展
18 30周年記念パーティを祝って
20 神戸の名木／小林政夫
31 私の意見／土井正三
33 ポエム・ド・コウベ(5月)詩・小林重樹 カット・
石坂春生
34 隨想二題／川口 陽之・武田 芳一
36 地域文化論／水谷頼介
38 30周年記念エッセイ／文・絵／中西 勝
40 れんさいエッセイ／文・安水 稔和・絵 中西 勝
42 座談会 日中友好ファッショニヨー
54 觀光特集／北野・旧居留地・六甲山・ポートアイラ
ンド・メリケンパーク・南京町・須磨・灘酒蔵・有馬
65 経済ポケットジャーナル
66 第21回神戸まつりがやって来
76 ファッションスポット
84 神戸のお嬢さん／大浦 千恵・王 丹玉
86 5月に小磯良平遺作展
114 ひょうごウォーク／ひょうごたすけい運動／高橋孟
113 コーヒーブレイク
114 動物園飼育日記／ゾウの動物園史(19)／亀井一成
118 プロフェッサーAの研究室／岡田 淳
120 ネオ…モーダメールヘン／篠原 順子
122 月刊神戸っ子30周年記念パーティより
126 話題のひろば／ラルフローレン・神戸J.C.
128 Kobe Topics
132 神戸を福祉の町に／橋本 明
134 有馬歳時記／有馬太鼓
136 神戸百店会だより
138 モダンカルチャーセンタ
130 シネマ試写室／シラノ・ド・ベルジュラック／淀川
長治
142 びっといん
144 ポケットジャーナル
147 神戸っ子俱楽部会員情報
148 るばるたーじゅ神戸／文・有井基
152 第15回神戸文学賞佳作作品発表
連載小説「星の光 月の位置」(第2回)／作・大迫智
志郎 絵・田中一好
157 小磯良平名作表紙絵シリーズ(5)／荒尾親成
174 新連載エッセイ「北野物語」／文・宮本豊子・写真
・中村年延
116 海・船・港／かどもとみのる
177 ポートウォッチング(神戸港を考える会)
目次作品／新谷透紀
カメラ・米田定蔵・池田年夫・松原卓也・森田篤志

はるかインドから英国を経て、明治初年神戸外国人居留地に至ったカリー文化は、日本の米と神戸の牛肉と出会ってみごとに開花。

今や一世紀を超えるこのカリー文化を正しく次の世代へ伝えるために、先人達の足跡をたどり「家例三ヶ条」を守って味の温故知新に努めるとともに現代のライフスタイルに合った新しいカリーを提案します。

古きをたずね、新しきをつくる、
温故知新の「カリー元年」
御影の地に
オープンします。

伝承文化

北野異人館

自然尊重

神戸外国人居留地



1868~1899

おかげさまで創立20周年

20th
Anniversary
Rock Field

長年御影ガストロノミをご利用頂き、
本当にありがとうございました。
新しく生まれ変わる「カリー元年」を
よろしくお願い致します。

1991・6・8

オープン

カリー元年 神戸謹製

神戸市東灘区

御影山手1丁目

御影ガーデンシティ1F

家例三ヶ条

医食同源



HIGH QUALITY DELICATESSEN

株式会社 ロック・フィールド

本社/〒650 神戸市中央区明石町48番地 神戸ダイヤモンドビル5F
TEL(078)331-1021(代表)

夏だから
マドラスチエック

スカート
¥11,000

帽子
¥5,900

MAC

ショートパンツ
¥6,800

ジャンバー
¥11,000

パンツ
¥9,800

HEAD OFFICE 7F NEW CENTER 1-6-22/SANNOMIYA-CHO CHUO-KU KOBE CITY 078-392-1651

SANNOMIYA CENTER-GAI 1 078-391-0895

TOR-ROAD 078-391-0896

SANNOMIYA CENTER-GAI 2 078-332-0141

HIMEJI FESTA 2F 0792-89-4738

HIMEJI FESTA 3F 0792-22-1333

TAKARAZUKA SUNVIOLA 3F 0797-71-4830

SEISIN PLENTY 2F 078-992-0088



MAC
SINCE 1895 KOBE

SANNOMIYA MAC

THE BLAZER SHOP MAC

DOLCE MAC

FESTA MAC

BENET TON MAC

SUNVIOLA MAC

PLENTY MAC

MORI
Pearls
Co., Ltd.



"Fruity Elegance"

森真珠株式会社

本社／〒651神戸市中央区二宮町1丁目4-15
☎(078)241-2125㈹

ショールーム／〒651神戸市中央区二宮町1丁目4-15
(年中無休) 2F ☎(078)222-5881㈹ 駐車場有り

オーバル店／〒650神戸市中央区北野町1丁目1R 新神戸駅口
(年中無休) 3F ☎(078)262-2858㈹ 262-2859
東京支店・大阪支店

既に皆様ご承知のよう、我がオリックス・ブルーエーブは、今季よりフランチャイズを神戸に移しました。ニックネームも新しくなり、神戸の市民球団として心機一転、私個人としましてはルーキー監督として、新鮮な気持ちでゲームに臨みたいと思っております。

熱い戦いをご期待下さい

土井 正三

△オリックス・ブルーエーブ監督△

□私の意見



神戸という街は私にとって、小学校から高校まで育てていただいた思い出深いところで、非常に親しみを持っています。大学生になってから東京に出まして、およそ三十年が経ちましたが、久しぶりに帰ってみると、あちらこちらが様変わりしており、思っていた以上にい街なんだなあ、と再認識させられました。

雄々しい六甲山の山並も、様々な客船で賑わう神戸港も、そこに生活している人達のセンスの良さを窺わせる街も、とても心地よく感じられました。

ブルーエーブは、球場に駆けつけて下さった方のみならず、応援して下さる総てのファンの方のためにも、決して最後まで諦めず、そして、ガッツあるプレーを皆様にお見せしたいと思っております。

チームの看板は、なんといってもブルーサンダーと異名をとる強力打線です。主砲の石嶺を始め、ブーマー、藤井、高橋智と、パワフルなバッティングが売り物の選手たちは、今年も、夜空にたくさんの花火を打ち上げてくれる事でしょう。地味ながら、山森、小川らは、華麗な守備を見せてくれることと思います。松永、本西らの走塁も見逃せません。また、忘れてはいけないのが投手陣です。佐藤義、星野の両エースを始め、円熟味を増してきた山沖、伊藤敦、そして大学ナンバーワン・長谷川の加入により、ますます充実してまいりました。

今季も、チームが一丸となって、精一杯頑張るつもりです。これこそ“プロ”だと言えるプレーで、皆様を魅了したいと思つております。

我々にとつては、ファンの皆様の熱いご声援こそがエネルギーになります。優勝を目指に頑張ります。どうぞ宜しくお願ひ致します。

Juchheim's
Familie seit 1862
Familie und Meine Backwaren
Niederrheinische Backwaren
Seit 1862

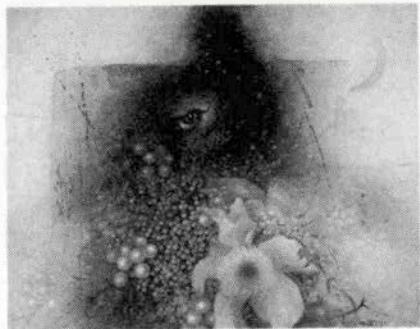
ゆとりの「時」をひろげる
白の気品あるケーキ
フランクフルタークランツ



しっとり焼き上げたスポンジケーキに
バタークリームをサンドして
アーモンドシュガーで上品に仕上げました。
淡雪のような口どけの良さと
純白の美しさが涼感を誘う小ぶりな贈り物です。
あなたの大切な方々へ、ひと足早い夏のおいしさを
ゆとりある時と共に届けください。

△ユーハイム

KAKINUMA GALLERY



午後の情景
(油絵)
田中美穂・作
二紀会同人

霧に包まれた中の幻想。静かに、まどろむ
時の流れのなかで、緊迫感を残す白日夢。

キャンバスの中に、自分の気持ちを何度も
何度も重ねてゆきます。絵と心が受け合うと
スッと気持ちが軽くなります。

(柿沼産婦人科に展示 5/1~5/31)

芦屋 柿沼産婦人科

★健保適用 産婦人科・内科(女性専科)



阪神芦屋駅北へ1分・芦屋警察署東隣り
☎ (0797) 31-1234 (FAX兼用)
月曜~土曜まで診療しています。木曜・土曜は午前のみ。
当GALLERYに掲載ご希望の方は月刊神戸っ子まで御連絡下さい。

光

小林重樹

カット／石阪春生

梢や

葉のおもてで

いくどもさえぎられ

濾過された

森の底にとどくのは

澄んだ

光
底へ沈んで行くほど

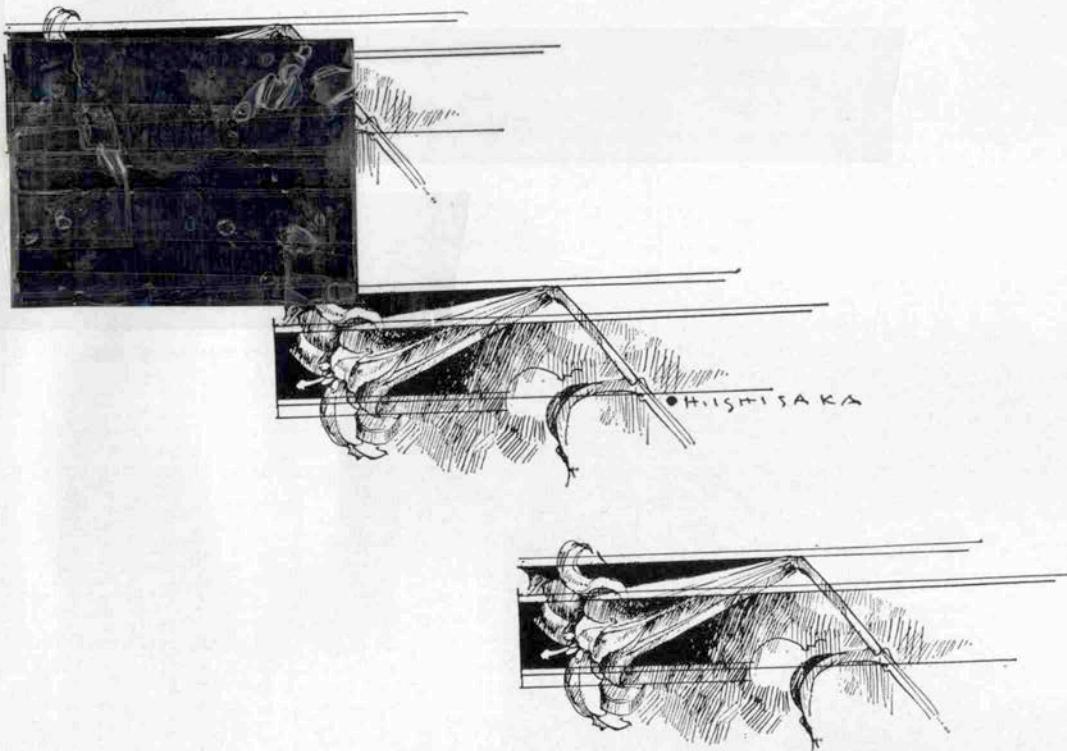
濃くなつてゆく
純粹

その深い底に
生まれるもの

ひかる苔

オヒシバの芽

さみしさや　夢



隨想二題

思い出の上海

武田

芳一

（作家）



上海はわたしにとっては、青春の街であり、思い出の一ぱい残る都会である。

今度、K・F・Mが、上海、杭州で、日中友好のためにファッショニ・ショーをするので、その応援をかねるツアーレ募った。わたしも、O女やF女から誘いをうけ加わった。

このファッショニ・ショーは上海も杭州も大受け大成功だったことは、その当事者が書くだろうから、わたしはやめておく。

私は過去に十年も上海には住んだので、地語はよく通ずると思われ、私も何か役立こともありますとい参加したが、さて、現地に立つと、単語の少しさ覚えているが、何か訊いても、大体は殆ど忘れていることが多い。役立など少

し不安であった。五十年の歳月は忘却の海に消失した言葉など浮んでこないと思っていたが、相手から何か親しい言葉をかけられるたと、忘れていた単語が何の脈絡もないに、ひょっと飛び出してくるので、我ながらびっくりすることよくあった。しかし、与えられた言葉が全部受け答えができるわけではない。分らない語も多々あつた。その時は、違つた語を多く喋つていると、知らぬ間にその内容が了解の思いになるのは双方であつた。

ファッショニ・ショーは上海で二回、杭州で一回のショーは、みな観衆を魅了して息を呑む思いで見入つてゐた。楽屋では言語不通の笑話や失策などは少しあつても、ショーは大盛會と大成功は否めなかつた。

わたしの上海語は杭州でよく通じた。しかし、同じ上海語でも、杭州人の上海語は少し異つてゐた。関西弁が京都、大阪、神戸と



SIGHTSEEING KOBE 2.
兵庫県立近代美術館（灘区）



南京路の街並

一寸異つてゐるのと同じくらいで、他所から聞けば皆同じ関西弁である。しかし、住民がきくと三市の語音はみな異つてゐるのと同じで、他国人からは同じ上海語にきこえる。その為か否かは知らないが、杭州人と上海人は反目競合がある。私は蝸牛角上の争いと茶化したが事実は事実である。

杭州ナンバーの車は日中に上海に入る事と、上海ナンバーの同じく杭州市に入れないものである。但し、夜七時から翌朝七時までは自由である。この自由時間の制定は、人民の受皿側をいかに配慮しているかが分かる。私はこの社会主義化したが事実は事実である。

義国の制定が、人民の心を配慮しているかが推察できる。日本の制定はいつもお上意識で制定する、人民間の配慮など破片もない。それから未来性の配慮もある。お上意識とは中央官僚の優越性と地方への侮蔑性である。彼らはあるのは目先の利害勘定が、彼らの基本意識である。百年の未来性も、十年先の国の利害さえも、考えないように思える。しかし、私には野党側にも票集めのエゴしかみえない。

孝行の言葉は東洋だけ

川口 陽之

（歴史家・登山家）



白頭山の頂上火口湖のピークにて

五年前の還暦で、母校（神戸商大）の後輩に川口自動車の社長を譲った私は、この五年間に、ヨーロッパアルプスや、ネバールヒラヤ、アフリカのキリマンジャロ、老いた親の面倒を子供がみる動物や鳥類は全然存在しない。

ローマ帝国が、老いた親鳥に餌を運ぶ子鳥の伝説をもつコウノ鳥にあやかつて、親孝行を強制する法律をつくったが、「孝行」という言葉がなかったので「コウノ鳥法」と呼んでいた。

南米のアコンカグア、ボルネオのキナバル、ニュージーランドのマウントクックなどの辺地の高山ばかり行っている。

そこで気づいたことは、老人になつた親を、子供が面倒をみていないことである。

英語だけでなく、ドイツ語、フランス語、スペイン語などには、「孝行」という言葉はない。

あえて英語で「孝行」をさせば「Duty」であるが、これは税金にも使っている。

「孝行」は納稅程度である。

ところが、「儒教」が入つていた中国東北区（旧満州）の白頭山や、韓国雪岳山、玉山（旧新高止山）などに行ったら、「孝行」が金科玉条になつていて、老父母の面倒を見るために自分の子供の養育まで犠牲にしているような面があつた。

日本古来の「神道」や、七世紀からの「仏教」には、老後は子供に迷惑を掛けることなく頑死する「ポツクリ信仰」だけであつた。

子育ての終わった老人は「生に執着せずに、あっさり頑死する」ことが真理である。

私は、ハードな山登りで肉体を酷使して使い切り、七十歳を越せば頑死することに決めていた。

子供や、若い者のために、いくら膨大な教育や福祉予算を計上してもよいが、老人福祉のための予算はどんどん削るべきである。

でないと、財政破綻で日本は滅亡する。

ところが、このコウノ鳥の話はウソであることが判り、すぐに廢止している。

「生物は子孫を残すのが使命」という真理が優先したのである。

植物でも、ウバメガシやブナは自分の種からが発芽して苗木になり、成木になるまでは、親木は枝を大きく張つて、他種が入り込まないよう頑張っているが、苗木が一人前になると、親木は枯死してしまう。だから、ウバメガシ林やブナ林は、何千年も同じ植生を保つてゐるのである。

子育ての終わった老人は「生に執着せずに、あっさり頑死する」ことが真理である。

私は、ハードな山登りで肉体を酷使して使い切り、七十歳を越せば頑死することに決めていた。

子供や、若い者のために、いくら膨大な教育や福祉予算を計上してもよいが、老人福祉のための予算はどんどん削るべきである。

でないと、財政破綻で日本は滅亡する。

垂水郷土史 ★著書紹介★



城下町安中と新島襄

水谷 穎介 △都市計画家・建築家▽

安中は未知の町だった。東京生

れなのに、北関東は、どうもなし
みがうすい。数年前に、「輕井沢
の別荘史」(宍戸実著)の現場を
著者と訪ねる会に出席して、途上、
かつての絹の道だった富岡製糸工
場や渋沢栄一出生地の深谷あたり
を通過したのだが、その時訪ねた
修理中の妙義神社の石垣に、関東
にもこんなものがあるのかと驚い
たぐらいのすくない触れあいだつ

今回は、昨年神戸で開いた全
国町並保存連盟の幹事会の夜に、
是非とお願いして、「安中の自然
と文化を学ぶ会」が実現してくだ
さった訪問だった。

確冰関所跡、坂本、松井田とい
った上州路一中山道の宿場町めぐ
りもふくめて、江戸時代、板倉勝
明候の城下町は、なかなか見所が
豊富である。この小さな城下町に
も現代の都市計画はいろいろ至み
をもたらしていく、都市計画街路
の街なかの通過にあわせて保存修
理された武家屋敷群奉行役宅猪狩
家長屋は、荒っぽい藁屋根葺きで
素朴で力強い。

そして、関西派からみると京都
の新島襄がなぜこの西上州の出身
なのか、それでここにいまなお「新
島学園」という存在も、興味深か
った。新島襄は、函館でニコライ
と会い英語を学び、一八六四年ア
メリカへ密航し、ボストンへ着き、
一八七四年横浜に帰国、安中へ戻
っている。

神戸の宣教師から呼ばれて、京
都の山本覚馬(妹が後の襄夫人八
重)に会い土地の寄付をうけて一
八七五年(明治八年)同志として
の英学校を発足させている。
新島邸も、昭和三九年に敷地の
位置をすこしかえて復元、見学で
きる。ここでは、一八九〇年(明
治二三年)、新島襄が永眠され
から百年になるのを記念して刊行

会が発行した書物「新島襄」が無
料で配布されている。

日本基督教団安中教会の礼拝堂
は、新島襄召天三〇周年を記念し
て建てられたもので、正式には「新
島襄記念会堂」という。壁体は大
島石造りで、帝国ホテル(大正一
二年竣工)の五年前(大正七年八
月着工)一八年八月竣工、設計古橋
柳太郎(大正二年竣工)だと評価する書きもある。

建築物は、質素な材料だがきわめ

てていねいに造られている。堂内

には、襄の影響をうけた湯浅治郎

や「非戦」をとなえた柏木義円ら

の肖像がござられている。

夕暮の西日をあびた記念会堂の
あちこちをゆっくりと眺めている
と、自称・町並み旅館・片寄秀
文君と出くわした。彼は、ひよ
こりと、岩波版「スケッチ 全国
町並み見学」をとりだして、ここ
へはすでに訪ねていて、この書に
書いてあるのだよ、と見せてくれ
た。さすがだね、とうなづく。

安中から帰つて、すぐ、同志社
女子中学校・高等学校静和館が壊
された。安中での新島襄を奉信する人
々にも呼びかけて応援の力になつ
てもらつたら、と答えたたら、現在の
同志社は新島襄に触れてもらいた
くない―学校の将来のために、
ミッションスクールでは得策でな
いという気分があるそうだとい
う解説をうけた。「本当にかしら」への
答はまだつかんでいないが、安中
とは対照的にこちらの建物が壊さ
れてしまつたことだけは確かだ。



新島襄記念会堂

神戸文学賞作品募集

本誌は昭和51年に創刊15周年記念として神戸文学賞・神戸女流文学賞を創設いたしました。これまで左記の通りに各賞の受賞作が決定しておりますが、第11回の募集より、さらに質の向上をはかるため「神戸文学賞」の名称に統一、受賞作を一作品として、現在、広く作品を募集いたしております。

- 第十一回神戸文学賞「瞑父記」（田能千世子—茨木市）
（この回より神戸文学賞と同女流文学賞を一本化）
- 第十二回神戸文学賞「夢食い魚のブルーグッドバイ」（金谷かおる—高砂市）
- 第十三回神戸文学賞「お夏」（門田露—西宮市）
- 第十四回神戸文学賞「風車の音はいらない」（上田三洋子—長岡京市）
- 第十五回神戸文学賞「渴き」（刀禪喜美子—大阪市）

ここに第16回文学賞を公募するにあたり、多数の意欲的御投稿をお願いするとともに清新かつ強力な作品の出現を期待する次第です。

△募集要項

- 一、応募作品は小説とし、応募資格は問いません。ただし応募作品数は一篇に限ります。
- 一、応募作品は未発表原稿、または締切以前、一年未満に発行の同人誌に掲載したものに限ります。
- 一、原稿枚数は四百字詰60~70枚。
- 一、原稿には住所、本名（筆名）、年齢、職業、略歴を明記し、四百字程度の作品梗概をつけて下さい。
- 一、締切りは八月三十一日（当日消印有効）
- 一、受賞作品発表は本誌一九九二年新年号誌上で、同号より作品を掲載します。
- 一、原稿の返却、選考経過などに関する問い合わせには応じかねます。
- 一、受賞作品の著作権は本誌に属します。
- 一、受賞作品には副賞として賞金三拾万円が贈られます。
- 一、原稿の送り先、お問い合わせは、神戸市中央区東町一ー三の一 大神ビル九階月刊神戸っ子「神戸文学賞係」まで。
電話〇七八一三三一一二二四六

△選考委員▽杜山 悠・武田 芳一・鄭 承博

主催／月刊神戸っ子

お祭り騒ぎの 誌面を

中西

勝 ▼画家・絵と文▼

「神戸っ子」とは、その前身である「元町」という本の創刊前からお付き合いさせていただいていた。その頃、小泉さんは国際会館の下でお茶屋さんをしておられ、行きつけにしていたたこ焼屋でよくご一緒したものだ。

ある日、かの有名なたこの壺に立ち寄ったときに小泉さんから、

「中西さん、「センター」という本があるでしょ。僕も『元町』という本を作りたいんですけど、相談をもちかけられた。

いいアイデアだと思ったが、同人誌でも三ヶ月

ももてばいい方だということを知っていたので、

「三ヶ月はどんなことがあっても続けなさい。そ

のためには、内容のある同人誌と同じように作家

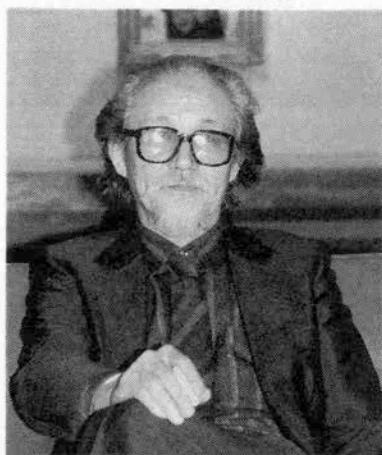
や作家に金を出して表紙やカット、文章を書いて戴く様な事もあっていいですね」

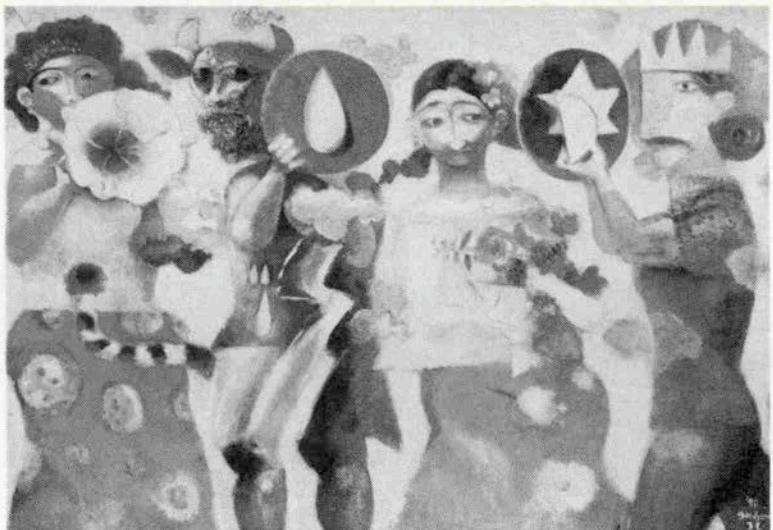
と提案した。

そして創刊。当初は、小泉さんはお茶屋を続けながら本を出しておられたので、私は店の奥でよくカットを描いたものだ。江戸川乱歩賞をとったばかりの陳（舜臣）さんにお酒等をよくおごってもらつたことも思い出される。

当時は、ある意味で神戸の黎明時代だったようだ。今のように豊かな時代ではなかつた。今のように大きな都会では決してなかつた。しかし、とても可能性を秘めた面白い時代ではなかつたうか。そんなときに、初め「元町」、そして「神戸っ子」は生まれたのだ。

それから三十年。たくさんのスポンサーにも恵まれ、ここまで大きくなつたということは本当に驚くべきことである。また、毎月の本の編集だけでなく数々のイベントも手がけてきた。毎年恒例となつた新年会、そして世界の酒祭り、などなど。最近では、小泉編集長と神戸ファンモーデリ





スト（KFM）の藤本ハルミ会長を中心となつて上海・杭州でファンションショーを開き、大成功をおさめたと伺つてゐる。『神戸の道はシルクロードにつづく』ではないが、今まで以上に国際的視野を持つた「神戸っ子」であつてももらいたい。その一方で、神戸に住んでいても今までに気が付かなかつた我々の周辺の喜びを、「神戸っ子」が気付かせてくれなければならぬ。編集部による企画だけでなく、街で起つた面白い情報を外部の人間から集め、同人新聞というようなページをつくつてみてはいかがだらうか。みんなでお祭り騒ぎをしているようなページを。

例えば、一週間は月曜日から日曜日までの七日間である。これを最初につくり出した人には、月曜日は月の祭りの日であり、火曜日は火の祭りの日であるというイメージを持っていた筈である。ところが、我々はそのことを忘れてしまつて、「今日は月曜か。ああ火曜か」という具合に、何らの感動も持ち合わせなくなつてしまつた。原始時代の太陽崇拜を意味する土器も、西洋文明によつて現在は単なるデザインに過ぎなくなつてしまつた。

「神戸っ子」は、このようになつてはいけない。常に新鮮なものを提供し、原点を呼びさましてくれるような存在であつてほしい。そうすることによって、神戸が持つてゐる創造性を伸ばしていくのは「神戸っ子」だからである。「神戸っ子」は作家に原稿を戴いてゐる。そして作家は「神戸っ子」に原稿を掲載して戴いているという風なお互いの謙虚さが、神戸をますます美しくしていくのである。

旅のかたち

18

春の谷 安水稔和 絵／中西勝

去年の春に和山の宿でもらつてきて鉢に植えていたスイセンが、水々しい青い葉をのばした。ところが花が咲かない。今ごろは、鳥甲山を見上げる和山の斜面は、スイセンの花とフキノトウでいっぱいだろうな。昨年は三月の末に出かけたが、今年は仕事に追われて気がつくと、もう四月だ。よし、今年も行つてみようか。

思い立つて夜に逆巻の宿に電話を入れて、次の朝、出かけた。

私にはどうも同じ場所へ何度も出かける癖があるようだ。能登へ、そして佐渡へ何度も出かけた。三河の花祭に数年つづけて年の暮になると出かけて行つた。東北へ菅原真澄を追いかけて一年に何度も何年も通つた。

春になると室津へよく出かけた。それがいつも梅の盛りではなくて、花の散ったあとを見はからつたように出かけた。花と花の間にわざわざ何を見に行くのかと言われましたが、毎年重ねて出かけてみると、これがなかなかいいのだ。毎年同じようで、どこか違つていて、おもしろい。梅が散り残つていたり、すっかり散りはつていて、桜がちらと開いていたり。足もとにスイセンが咲き乱れていて、高いところにツバキの花が並んでい

て。人がいなくて、犬がいて。人がいなくて、子どもの声がして。風に吹かれて斜面をくだる。日本丸に腰をおろす。海を見たり、空を見たり、だまりに腰をおろす。海を見たり、空を見たり、目を閉じたり。あ、と言つてみたり。おお、と言つてみたり。いかにも気ままな時間である。鈴木牧之を追いかけてはじめて秋山郷へ出かけたのは、一昨年の夏だった。これはいつものようないつて、この春にまた出かけていく。

飯山線に乗り継いで一時間もすると、線路の脇に、家の蔭に雪が残つてゐるのに気づく。大きな木の下枝が折れている。小さな木が折れている。やがて一面の雪の原。津南で降りて、タクシーを走らせると、昨年は雪のなかつた田畠がすっぽりと雪をかぶつてゐる。谷の口の、昨年カタクリの花を見つけた崖も雪である。宿へ登つていく入口の橋のたもとも雪が残つていて、昨年フキノトウをどつさり摘んだ枯草の斜面も、今は雪でおおわれている。登り道の途中、道にかぶさるように谷へのびた大樹の幹が折れて、ない。裂けた跡が、痛々しく鮮やか。崖下をのぞくと、チエンソーやいくつにも切断されて雪のなかに落させていた。昨年と同じ宿の、昨年と同じ部屋に泊まる。窓に



向かって座る。谷向うの雪の斜面を見る。昨年の記憶の斜面と重ねてみる。ななめに立つ木の一本一本を見る。見えなくなつて、なお見る。漂ういのちの気配。押し包む青い山の闇。夕食にクマが出た。昨年同様に。同宿は他に男性一人だけ。

次の日。谷の奥に入る。バスに乗ると、おばさんが一人乗っていて、入れかわりのようにすぐ降りて、バスは貸し切り。小赤沢で下車。バス停からすこし入った木造の大きな建物に入つてみる。民俗資料館という古い看板があがつている。元小学校。一階は現在保育所。若い人が、保母さんだろう、すっとあらわれて、こんにちわと挨拶交わして、すっといなくなる。坂道を汗ばみながらどんどんのぼつていって、木造りの大きな建物にたどりついて、泥のように赤い湯にゆっくり入る。食堂では、土地のおばあさんが六人、持参の菓子果物でおしゃべり。こちらは、ビール。窓の外の鳥甲山のまぶしい雪の肌をぼんやり眺める。ほんとにいい天氣。目が痛くなる。目を閉じる。背中のテレビは決勝戦、広陵のサヨナラ勝ち。日の宿は上野原。客は他にいないとか。部屋の窓から鳥甲山が間近に見えるだろう。夜半、カモシカがのぞくかしら。さらに谷の奥の和山の、スイセンとフキノトウのあの斜面は、今年はまだ雪に埋もれているだろうな。